

放射線障害防護用器具 機械器具(11)
一般医療機器 放射線防護用固定式バリア JMDN:38374000
X線カットフィルターMJP

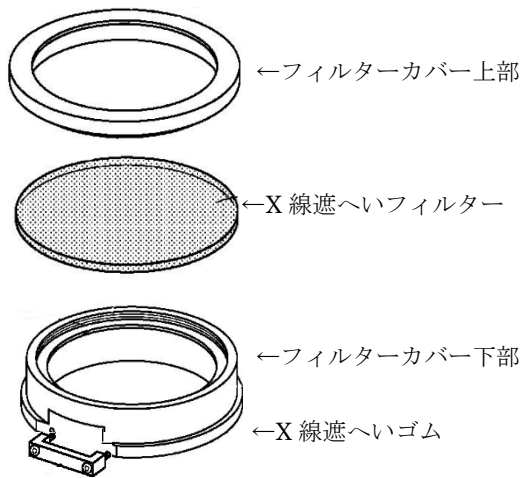
【形状、構造及び原理等】

1. 形状及び構造等

本品は以下の部品で構成されている。

※フィルターのサイズ、形状、枚数、X線遮蔽ゴムの位置等はX線発生装置のモデルにより異なる。

(代表例)



【使用方法等】

(1) 使用前の準備

本品とX線発生装置が固定ベルト又は両面テープ等により確実に固定出来ていることを使用前に確認する。

(2) 使用方法

X線発生装置の線管外部に本品を装着し、通常通りX線照射を行う。

【使用上の注意】

- ① X線発生装置にて照射を繰り返すことにより、X線遮へいフィルターや土台となる金属材料に経年的な特性変化が生じる可能性がある。
- ② 使用状況および使用環境により異なるが、フィルターガラスの状態（ガラスに割れ、欠け、変形、剥離等がないか）を確認し必要に応じてガラス交換を行うこと。
- ③ 本品は消耗品ではないが、永続的な性能保証を行うものではない。
- ④ 本品を改造、分解して使用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- ① 高温多湿、直射日光を避けて保管すること。
- ② 水のかかる場所に保管しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社メディカルインクス
福岡県大野城市川久保 1-17-13
TEL:092-513-0050

製造業者：株式会社メディカルインクス
福岡県大野城市川久保 1-17-13
TEL:092-513-0050

名称	説明
フィルターカバー	フィルターを固定する部品
X線遮へいフィルター (1~3枚)	一次放射線源又は散乱放射線源からの低エネルギーX線（軟線）を低減し、画像形成に必要なX線（硬線）を透過させる
X線遮へいゴム	X線の漏れを防ぎ隙間を補完するゴム (取り付け可能な機種のみ)

2. 原理

本品を使用することにより、X線発生装置から照射される直接線による患者、特に小児患者のX線撮影時における不要な被ばくの低減を図る。また、医師が手術を行う際に、照射野内へ手指が入ることによって生じる直接線による被ばくの低減を目的としている。本品はナノガラス及び金属材料から構成され、不要な低エネルギーX線（軟線）を低減し、画像形成に必要なX線（硬線）を透過させることを目的として設計されている。

【使用目的又は効果】

一次放射線源又は散乱放射線源からの低エネルギーX線（軟線）放出を減衰させることを目的とした構造的バリアを形成する据え付ける器具をいう。通常、診断用又は治療用放射線放出機器などから放出される放射線による不必要な被曝から患者を保護するために用いる。